

第2回（仮称）平塚駅周辺地区まちづくりサミット 開催報告（概要版）

1 開催概要

日 時：令和8年2月9日（月） 午後4時00分から午後6時15分

場 所：ひらしん平塚文化芸術ホール 多目的ホール

出席団体：東海大学 平塚農商高校 明石町会 紅谷町自治会 見附町町内会
錦町町内会 宮の前自治会 平塚駅周辺再開発構想会議
ひらつか市民活動センター ひらしん平塚文化芸術ホール
平塚まちなか活性化隊 平塚市商店街連合会 平塚商工会議所
平塚商工会議所青年部 公益社団法人 平塚青年会議所
株式会社 JR 横浜湘南シティクリエイト 神奈川中央交通株式会社
平塚信用金庫 横浜ゴム株式会社

平塚市 都市整備課
株式会社アルメック（委託業者）

次 第：開会

挨拶

プログラム

（1）平塚駅周辺地区将来構想の進捗報告

（2）ワークショップ形式の意見交換

閉会

配布資料：次第

参加者名簿

資料1 平塚駅周辺地区将来構想の進捗報告

資料2-1 平塚駅周辺地区再開発構想会議/浜大門通り新光会 中村様の発表

資料2-2 平塚商工会議所青年部 木村様の発表

資料2-3 横浜ゴム株式会社 本社・平塚製造所 長尾様の発表

2 議事要旨

開会

午後4時に開会した。

東海大学教授の梶田氏がファシリテーター兼司会を担当した。

挨拶

平塚市 青木駅周辺地区整備担当部長

- ・平塚駅周辺地区将来構想を実際に動かしていくためには、行政の施策だけでなく、商店会や自治会、企業、学校、市民活動など、多様な力が噛み合って回っていく必要がある。

- ・この集まりを将来構想の実現に向けて、関係主体同士が連携し、継続的に意見交換できる土台をつくる有意義な場としたい。

プログラム

(1) 平塚駅周辺地区将来構想の進捗報告

平塚市都市整備部都市整備課駅周辺地区整備担当より、**資料1**に基づいて説明がされた。

○（仮称）平塚駅周辺地区まちづくりサミットの名称について意見交換

- ・「平塚駅周辺地区まちづくりセッション」を名称として使用していくことになった。
- ・副題をつけることなどについても提案があった。

(2) ワークショップ形式の意見交換

Aグループ 通りのイベントをさらに広いエリアで実施するための連携

- 浜大門通りでのイベントを湘南スターモールで行うため、まずは実績づくりから始める
- 他団体とのコラボレーションのアイディア ほか



Bグループ 各団体の取組みを持続可能なものにするための連携

- 各団体の得意分野を活かし、足りない部分を補う ほか



Cグループ 企業が継続的にまちづくりに関わるための連携

○まちなかの緑化

○企業の製品をイメージした食品を作り、PRする ほか



〔ワークショップの総括〕

- ・グループ内だけでなく、例えばAグループのイベントで他のグループの企業がPRすることや、コラボ商品を出品するなど、さまざまな可能性が見えた。
- ・この集まりには、駅周辺のあらゆる業界や団体が集結しているため、今日をきっかけに、各グループで出た意見を全員で検討し、エリアマネジメントの実現に向けて動いていけるとよい。
- ・平塚駅周辺地区将来構想の合言葉である「平塚駅周辺をみんなのリビングに」を実現していくために必要な連携が確認でき、それぞれのアイディアの具体化に向けて、有意義な会となった。

閉会

平塚商工会議所 白石副会頭

- ・2回目ということで、さまざまな意見やアイディアを自由に出し合うことができた。
- ・今後、アイディアを具体化することが楽しみである。次回以降も活発に意見交換してほしい。
- ・このまちづくりセッションが盛り上がらないと、駅周辺も盛り上がらない。そういった思いで取り組んでもらいたい。